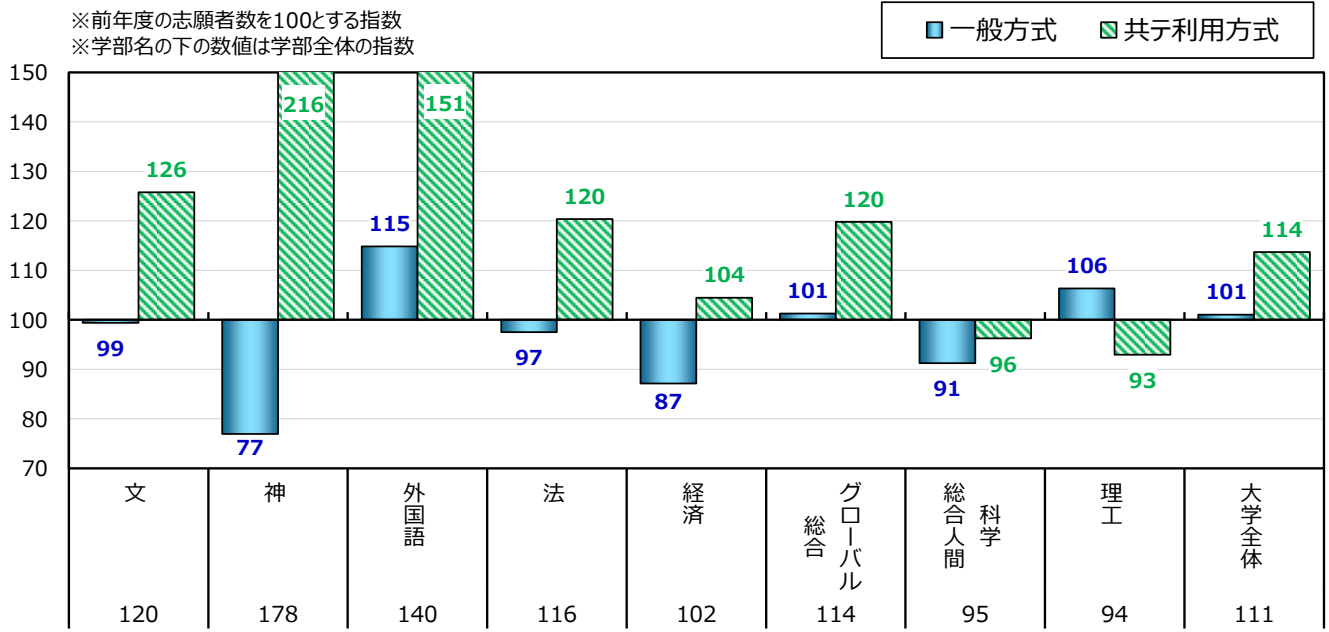


上智大：大学全体では2年連続増加。特に、＜共テ利用＞が大幅増加 一般：+51人 共テ：+2,966人



**主な入試変更点** 出願期間：＜一般・TEAP 利用＞、＜共テ併用＞… 1/4～1/18(共テ後の最初の水曜日)→1/4～1/22(共テ後の2回目の月曜日)  
※自己採点集計結果による合格目標ライン確認後の出願が可能になった。

試験日程：＜一般・TEAP 利用＞… 2/3→2/6  
＜共テ併用＞… 神：2/4(午前)→2/7(午前)  
文：2/4(午後)→(史、英文、ドイツ文)：2/7(午後)、(哲、国文、フランス文、新聞)：2/8(午後)  
総合人間科学：2/4(午前)→(教育、社会、看護)：2/7(午前)、(心理、社会福祉)：2/8(午前)  
法：2/5(午前)→2/9(午前)、経済：2/5(午後)→2/9(午後)、  
外国語：2/6(午後)→2/10(午後)、総合グローバル：2/6(午前)→2/10(午前)  
理工：2/7→2/11

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前年度の大幅増加に引き続き 3,017 人(111)の増加で 2 年連続増加。一般方式は 2021 年度から＜TEAP 利用＞のみとなったので、2020 年度以前についても＜TEAP 利用＞のみとの比較を行うと、志願者数は 3 年連続減少の反動はなく 51 人(101)の微増で前年度並。今年度の高 3 生はまたコロナ禍の中で英語外部試験の受験環境が整わなかった時期に高 1・2 を過ごしたことも影響。実施 4 年目の共通テスト利用方式は 2,966 人(114)の増加。方式別では、＜共テ併用＞は 2 年連続減少した反動は小さく 591 人(105)のやや増加。出願締切日の後ろ倒しで共通テストの自己採点集計結果による合格目標ラインを確認後の出願(以下「事後出願」となり、慎重な出願になった影響が見られた。一方で、共通テストの成績のみで選考する＜共テ利用(4教科型)＞は 2 年連続減少の反動で 872 人(122)の大幅増加。実施 2 年目の＜共テ利用(3教科型)＞も 1,503 人(126)の大幅増加、科目負担が軽いことで人気を集め、志願者数は 7,290 人と 7,000 人を上回った。

- <一般方式>** ※2021 年度から＜TEAP 方式＞のみとなったので、2020 年度以前も＜TEAP 方式＞のみとの比較による分析。
- 文(99)**は、前年度並。学科別では、7 学科中 4 学科が減少。特に、(哲)(80)が大幅減少で 2 年連続減少。一方で、(新聞)(120)は 2 年連続減少の反動で大幅増加、(フランス文)(120)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
  - 神(77)**は、大幅減少で 5 年連続減少。志願者数は 2021 年度に募集人員が 8 人になって以降で最少。志願倍率も 8 年ぶりに 3 倍を下回った。
  - 外国語(115)**は、前年度減少の反動で大幅増加。学科別では、6 学科全てが増加。特に、(ポルトガル語)(147)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(ロシア語)(122)も前年度減少の反動で大幅増加。
  - 法(97)**は、やや減少。学科別では、唯一減少した(法律)(86)は 6 年連続で増加なし。一方で、(地球環境法)(116)は大幅増加で 5 年ぶりの増加。
  - 経済(87)**は、前年度大幅増加の反動で減少。募集単位別では、(経済)＜TEAP 方式文系＞(75)が前年度大幅増加の反動で大幅減少。一方で、(経済)＜TEAP 方式理系＞(113)は 2 年連続増加。
  - 総合グローバル(101)**は、2 年連続減少の反動はなく前年度並。
  - 総合人間科学(91)**は、3 年連続減少。学科別では、5 学科中 3 学科が減少。特に、(社会福祉)(78)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(社会)(87)は 3 年連続大幅減少。
  - 理工(106)**は、前年度の大幅増加に引き続きやや増加。学科別では、3 学科中唯一増加の(物質生命理工)(129)が 2 年連続大幅増加。

- <共通テスト利用方式>**
- 文(126)**は、大幅増加。方式別では、＜共テ併用＞(107)は 2 年連続大幅減少の反動は小さくやや増加。＜共テ利用(4教科型)＞(152)、実施 2 年目の＜共テ利用(3教科型)＞(145)はいずれも大幅増加。学科別では、7 学科全てが増加し、(哲)(159)、(新聞)(133)、(国文)(128)、(ドイツ文)(127)、(史)(118)の 5 学科は大幅増加。
  - 神(216)**は、倍増以上。方式別では、＜共テ併用＞(127)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。＜共テ利用(4教科型)＞(244)は前

年度激減の反動で 2.4 倍増以上。実施 2 年目の<共テ利用(3 教科型)>(300)は 3 倍増。

- 外国語(151)**は、コロナ禍の影響緩和による系統への人気回復もあって、大幅増加。方式別では、<共テ併用>(140)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。<共テ利用(4 教科型)>(183)は前年度大幅減少の反動で激増。実施 2 年目の<共テ利用(3 教科型)>(157)は大幅増加。学科別では、6 学科全てが大幅増加。特に、(ポルトガル語)(277)は約 2.8 倍増。
- 法(120)**は、2 年連続大幅増加。方式別では、<共テ併用>(89)は 3 年連続減少。<共テ利用(4 教科型)>(135)は大幅増加。実施 2 年目の<共テ利用(3 教科型)>(175)は激増。学科別では、3 学科中 2 学科が増加。(国際関係法)(151)、(地球環境法)(118)はいずれも大幅増加。
- 経済(104)**は、やや増加で 2 年連続増加。方式別では、<共テ併用>(104)は 2 年連続減少の反動は小さくやや増加。<共テ利用(4 教科型)>(117)は 2 年連続大幅増加。実施 2 年目の<共テ利用(3 教科型)>(93)はやや減少。学科別では、(経済)(111)は前年度の大幅増加に引き続き増加、(経営)(100)は前年度並。
- 総合グローバル(120)**は、2 年連続増加。方式別では、<共テ併用>(95)は 3 年連続減少。<共テ利用(4 教科型)>(193)は 2 年連続減少の反動で激増。実施 2 年目の<共テ利用(3 教科型)>(134)は大幅増加。
- 総合人間科学(96)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。方式別では、<共テ併用>(104)は 2 年連続大幅減少の反動は小さくやや増加。<共テ利用(4 教科型)>(115)は大幅増加で、方式導入後初めての増加。実施 2 年目の<共テ利用(3 教科型)>(72)は大幅減少。学科別では、5 学科中 4 学科が増加。特に、(教育)(108)が 2 年連続増加、(看護)(107)は前年度大幅増加に引き続きやや増加。(心理)(105)は前年度増加に引き続き、やや増加。一方で、(社会福祉)(64)は前年度約 2.4 倍増の反動で大幅減少。
- 理工(93)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。方式別では、<共テ併用>(95)は前年度増加の反動でやや減少。<共テ利用(4 教科型)>(76)は 3 年連続大幅減少。実施 2 年目の<共テ利用(3 教科型)>(105)はやや増加。学科別では、3 学科中 2 学科が減少。(情報理工)(82)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。(機能創造理工)(90)は前年度大幅増加の反動で減少。一方で、(物質生命理工)(110)は前年度の大幅増加に引き続き増加。